

はやぶさ 第94号 2014年08月15日(金)

=====

発行責任者： 一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

理事長 平本 靖夫

（Captain 平本：（株）I&C・HosBiz センター）

編集責任者： 理事 石川 昌平

はやぶさのバックナンバーURL：<http://keiei-tokkunshi.jp/maga.php>

一般社団法人 経営特訓士協会

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

=====

メルマガ「はやぶさ」 第94回目の発信です、5回シリーズの第2回です。

著者：（株）I&C・HosBiz センター

平本 靖夫

タイトル：部門別独立採算制度（BMAC） で 収益力ナンバー1！企業へ

***** 本題 *****

その2 *部門別独立採算制度（BMAC）のすすめ方

中小企業の経営者のほとんどが、税務申告会計と管理会計の違いを理解していないことが、「スピードと正確さ」向上しない原因なのです

*前号において、その違いを解説しましたが、仕事の基本・管理の原則に合わせて、更に詳しく解説します。

- 1・・・会計勘定科目を、管理会計用に再設計する。ここがポイントの一つです。
従来の税務申告会計と管理会計の違いを、以下の表にまとめました。

	【A=税務・財務申告会計】	【B=管理会計】
1) 情報の利用者	1) 株主・金融機関・税務署等	1) 経営者、管理者等の当事者
2) 利用目的	2) 投資・融資・課税	2) 意思決定、収益管理、コスト管理、 キャッシュフロー管理
3) 対象期間	3) 過去	3) 現在・未来
4) 法の規制	4) 会社法、税法、その他 会計基準・規則等	4) 特になし 経営者・管理者が活用できれば良い
5) 作成者	5) 月次試算表・ ・申告書は税理士 ・基本データは自社で作成 提供する	5) 自社内の業務会計として作成して 部門別管理会計試算表にまとめる ・申告書にまとめるのは税理士

*説明の都合上、【A=税務・財務申告会計】【B=管理会計】として表します。

- 1) 情報の利用者は、A では直接経営に関わってなく、資本金の提供をしてくれた株主に対するリスクの判定に活用しています。
金融機関は、運転資金や設備資金・開発資金が安全に回収できるか、約束通りの使い道に資金を使っているかを統制・管理しているのです。
大手企業の営業報告書は、この二つの目的のために相当のエネルギーを割いて作成しているのです。税務申告はもちろん税理士や公認会計士が作成します。

B の管理会計は、販売や生産・資材仕入・物流の現場で基礎データを把握し、大手企業では経営企画室や経営管理室等で部門別に作成されて、収益力やキャッシュフローを統制しています。

- 2) 非上場の中小企業では、上記5) の作成者を見ていただくと A を作る会計処理を中心に進めているところがほとんどなのです。

ところが、利益管理を厳密に実施している中小企業では、上場会社と同じように、まずは B を作りそして A を作ります。申告には2ヶ月の猶予がありますが、経営は日々であり、月次で PDCA しないとリスクが増大するからです。

3) 中小企業でも、部門別管理会計（BMAC）は、実施可能なのです。今は、会計データベースは、ほとんどのPC会計機で可能です。販売・仕入・在庫（受払）・給与計算は会計機と統合してトータルに利用することも可能になっています。

経営者が、部門別管理会計（BMAC）を必要と望めばできるのです。先進的な会計人の方は既に取り組んでいます。

2・・・会計勘定科目を、管理会計用に再設計する。ここがポイントの一つです。この点を解説いたします。

1) Aでは、極論すれば税額を正確に計算することに目的がありますが、Bでは純売上高に値引き・返品・クレーム等を織り込む。売上原価に、製造原価や仕入原価とともに、在庫損耗、物流費や支払手数料等を正しく反映させて、正確な売上総利益を把握することにあります。

2) Aでは一般販売管理費では、販売費・管理費は人件費レベルでも未区分が通常ですが、Bでは全ての勘定科目を販売費と管理費に区分し、「**重点管理の法則**」を利用して、収益力とキャッシュフローに重要な「**統制科目**」を設定して、スピード重視で設計・運用します。

部門別管理会計（BMAC）の機能は抜群で例外なく大きな効果が出ますので、やってみてください。

◆この点につきましては、機会を見て詳論いたします。

*部門別管理会計の導入・人時生産性の向上対策については、以下にて資料請求してください。

アドレス：<http://www.hosbiz.net/pdf/dm.pdf>

◆DVD「経営特くんゲームのすすめ方」と小冊子「経営のゴールド免許の取り方」をプレゼントします。下記よりお申し込みください。

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

***** お知らせ *****

◆「トライアルゲーム」・「マスター100」（5時間コース）◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■「トライアルゲーム」（初回体験受講）の場合はテキスト代 1,000円
特典として（1）小冊子「経営のゴールド免許の取り方」を差し上げます。

■「マスター100」は、テキスト代込み 2,500円
2回目以降の受講希望者が対象です。5時間で2ゲームを体験します。
このコースを20回受講すれば「認定経営特訓士」として登録いたします。

・両コースとも、同日開催いたします。
HPをご高覧いただき、「トライアルゲーム」「マスター100」のうち、
どちらを受講希望するかを申し込みください。

★ 毎回、熱心な皆さんが参加されています。繰り返し参加されることによって、
「経営力」がパワーアップされますとともに、「コミュニケーション力」も
体得できます。

・トライアルゲームを一度経験された方は、「認定経営特訓士」へのステップアップ
コース「マスター100」コースの受講をお勧めします。
受講料は2回目から、資料代込み 2,500円（税込）、20回受講で「認定経営
特訓士」として登録されます。

1) 8月23日（土） 13:30~18:30 「経営特訓道場」JR駒込駅南口 徒歩6分
東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

ご案内は以下に掲載しています。

「トライアルゲーム」 http://keiei-tokkunshi.jp/data/mis7231pdf_1_51.pdf

「マスター100」 http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls7231pdf_1_59.pdf

2) 9月27日（土） 13:30~18:30 「経営特訓道場」JR駒込駅南口 徒歩6分
東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

ご案内は以下に掲載しています。

「トライアルゲーム」 http://keiei-tokkunshi.jp/data/mis7231pdf_1_51.pdf

「マスター100」 http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls7231pdf_1_60.pdf

東京メトロ南北線駒込駅 1 番出口 徒歩 5 分

認定インストラクターは、現在 19 名ですが、資格を持ちながら、HP 上に未掲載の方もおられます。

<http://keiei-tokkunshi.jp/staff.php>

注)「経営特くんゲーム」の概要は、下記のHPを参照ください。

<http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

=====

◆プレゼントのお知らせ

「人生に五計あり」の保存版を作りましたので、ご希望の方は、

happy@keiei-tokkunshi.jp

でお申込みください。

折り返し、メールにて送付させていただきます。

=====

◆編集後記

はやぶさのバックナンバーURL：<http://keiei-tokkunshi.jp/maga.php>

「はやぶさ」の第 94 号を発行しました。

本号の編集後記は、編集責任者の石川が執筆しました。

=====

残暑お見舞い申し上げます。

- 8/15（金）は「終戦記念日」です。何故、「敗戦記念日」と言わないのでしょうか。終戦記念日では、日本が戦争に負けて、無条件降伏したという事実が後世の人に伝わらないのではないかと思います。本来は「退却」なのに「転進」と言ったりして、真実を隠してごまかそうとしていました。一種の強がりだたかもしかかもしれませんね。このような巧妙な言葉の使い方、本質を隠ぺいしたり、誤魔化す体質は、現在も引きずっているように思えます。

昨年12月に成立した「特定機密保護法」では、秘密にしておく有効期間が最長「60年」と長く、しかも、例外がたくさんあって、その気になればいつでも秘密のままにしておけるのです。大臣や官僚らが自分に都合の悪い情報を勝手に秘密にし、国民の目から問題を隠してしまう危険性もあります。

また、目下議論されている「集団的自衛権」も憲法の解釈を言い換えることで済まそうとしていますので、この体質は直っていないようです。まさに、私たち国民の意識レベルが問われているのですね。

- 編集責任者は本所・深川が火の海になった3/10の東京大空襲の時は、東京の自宅（足立区）におり近くの防空壕に入っておりました。危ないというので、長野市郊外の親戚に疎開し、8/15を迎えました。その2,3日前に隣の家で飼っていた山羊がバリバリというものすごい音の機銃掃射を受けて死んだという怖い経験をしたことを覚えています。当時小学校4年生でした。

読者の皆様から、ご要望や率直なご意見をいただきますと、発信する勇気と力が湧いてきますので、皆様からのメールを心待ちしております。よろしくお願ひします。

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

=====
一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@hosbiz.net

=====